

TIC NEWS

vol. **92**
2009.7

(財)とやま国際センター
〒930-0856 富山市牛島新町5-5
インテックビル4F (タワー111)
TEL (076) 444-2500
FAX (076) 444-2600
E-mail : tic@tic-toyama.or.jp
URL : http://www.tic-toyama.or.jp



石井知事をはじめとした友好代表团

～富山県友好代表团 遼寧省を訪問～

—富山県・遼寧省友好提携25周年—

今年で友好提携25周年を迎える富山県と中国遼寧省。中国の急速な経済発展を背景に、両国の交流はさらに深まる一方です。5月16日からの友好代表団の訪問が終わった後も、引き続き県訪問団、伏木富山港ポートセールス訪問団が北京、上海を訪問。経済、観光…様々な分野での新たな交流を約束し帰県しました。

イングリッシュ・アドベンチャー

日時：平成21年5月18日(月)～7月6日(月) 全8回
場所：(財)とやま国際センター 研修室

高校生対象の英語講座、イングリッシュ・アドベンチャーを5月18日から全8回の日程で開催しています。講師は富山県英語国際交流員のクラーク・コールマンさん。自身が以前韓国に滞在していたこと、また、英語だけでなく様々な文化に触れてもらいたいとの思いから、日本・韓国・アメリカの文化比較を中心に講座を展開しました。説明は全て英語で行われるため、最初は反応があまりありませんでしたが、回を重ねるごとに質問も出てくるようになり、知っている英単語で気持ちを伝えてみようという姿勢が見られるようになりました。参加高校生たちは、アメリカや韓国の学生たちの様子などを知って、びっくりしたり驚いたり、新たな発見があったようで、有意義な時間となったようでした。



第2回イングリッシュ・アドベンチャーは秋に実施する予定です!

生活支援日本語ボランティア養成講座 in 南砺 (前期)

日時：平成21年5月16日(土)～6月13日(土) 全6回
場所：南砺市福光福祉会館

生活支援日本語ボランティア養成講座地域編、今年は南砺市福光で開催しました。

今回、中国出身の方が2名、講座に参加されました。平成10年度から始めた日本語ボランティア養成講座(地域編は平成19年度から)に、今まで「支援される側」であった外国籍の方が参加されるのは初めてのことです。もうすっかり地域にとけこんでいらっしゃるお二人の今後の活躍が楽しみです。(皆さんには引き続き7月5日から始まる日本語教室に参加していただきます。)

講座の中では日本語がまだよくわからない外国人と話すことに挑戦してもらい、その体験の中から、「わかり合う日本語」を使うためのコツについて学んでもらいました。受講者の中からは「相手の話をよく聞くためには“あなたの言っていることをすべて聞きます”という大きな心、急がせないことが大切」、「文化の違いを知ることは、相手ができるようなトピックで話すことが大切」などの感想が聞かれました。



新しい国際交流員よりご挨拶!

ちょう せんう
趙 泉禹 (中国)

皆さん、はじめまして。中国上海から参りました趙泉禹です。上海は中国では最も人口の多い大都会で1,800万人余りが暮らしています。面積が中国全土の0.06%、戸籍人口が1%の上海ですが、じつに中国財政の8分の1を創出しています。皆さんに良く知られている黄浦江、都市の山林とも言える豫園、世界で最も賑やかな南京路、その他にも世界一高い展望台があるワールドファイナンシャルセンタービル(森ビル)や上海独特の建築様式と西洋ライフスタイルが融合した新天地レストラン街など、上海は中国の歴史、文化だけでなく、いろいろな地域と外国の文化を受け入れて独自の「海派文化」(上海風の文化)を形成しています。来年2010年は「より良い都市、より良い生活」をテーマとした上海万博が世界各国の方々をお待ちしております。

富山に来てあっという間に2ヶ月が経ちました。富山について日、松川の満開の桜が私を暖かく迎えてくれました。本当にきれいでした。中国語には「好山好水好風光」という言葉があります。きれいな水、雄大な山、どこにも負けない立派な景色、富山はまさにこの言葉にぴったりではないかと思います。こんなすばらしい自然に恵まれ、私の富山県人としての生活も落ち着きました。

休日には自転車に乗って富山を楽しんでいます。皆さんと触れ合いながら富山の魅力をもっと知り、また皆さんにも中国と上海のことを知っていただければと思います。心のハイファイブ、私は準備できております。皆さん、よろしくお願ひします。



当財団では富山県婦翔会からの寄付金を原資として中国遼寧省内の日本語を学ぶ学生に対し奨学金を交付しています。平成12年度から始まり、平成20年度までに64名の学生が奨学金を受けました。両県省の架け橋となる人材が育つことを願っています。

日本語を学ぶ阜新蒙古高級中学校を訪問して

富山県婦翔会会長 寺島 美津枝



富山県・遼寧省友好県省締結25周年記念式典が、5月18日、遼寧省友誼賓館で開催され、県知事を代表とする友好団（私も一員に）が参加して、一層の友好を深めました。

翌19日、阜新蒙古高級中学校を訪問。この学校では日本語を専門に学ぶ生徒が多く、婦翔会が奨学金を出している学校の一つです。

午前10時に到着すると、校門前で民族衣装を着た生徒が踊りながら出迎えてくれました。会議室で校長先生から、生徒は成績優秀で、中国は勿論、外国の大学にも進み、活躍していると話されました。話が終わって授業参観に。1教室に60人余りの生徒が真剣に勉強。テキストは先生の手作りで、先生が読んでみんなが復唱するという形でした。終わりに5分位の劇をしてくれました。とても上手でした。

授業終了後、4名の生徒に「楽しいですか」と聞くと「はい、楽しいです」と。最後の女生徒に「しっかり勉強して、富山に来て下さい」というと、立ち上がって「きっと富山に行きます」とはっきり応え、私が教室を出るまで手を振って見送ってくれました。輝いていた瞳に、私はその生徒の言葉を信じて教室を出ました。「頑張っ！」と祈って…。

富山県大連事務所活動レポート

“富山県物産大連展示会”

主催：大連日商外企服務有限公司、大連錦華銀座酒店
後援：日本国駐瀋陽総領事館大連事務所、大連市西崗区人民政府
富山県大連事務所、日本貿易振興機構大連事務所等

“富山県物産大連展示会”が大連錦華銀座酒店の「日本物産展示販売センター」で5月16日から5月27日まで開催されました。富山県・遼寧省友好県省締結25周年記念事業のために16日に現地入りした石井知事を団長とする友好代表団も展示会を視察しました。

開催期間中は「富山湾海洋深層水」の関連商品をはじめとした富山県の特産品や富山のくすり、銘菓・伝統工芸品等が会場に所狭しと並べられたほか、氷見うどんの試食などが人気を集め、多くの来場客で賑わいました。

また、展示会の開催に併せ、大連―富山便の格安航空券も販売され、話題を呼びました。



人気を集めた富山県の特産品の数々

とやま国際センターの相談事業

とやま国際センターでは、県内に在住する外国籍の方の生活面での悩み、諸問題の相談に母国語で応じています。

平成20年度からは三者通話機（トリオフォン）を使った電話通訳サポートも始めています。

富山県内に在住する外国籍住民は1万5千人を超えており、外国籍住民の方にとってもより暮らしやすい富山県を実現できるよう、相談業務の充実に取り組んでいます。



とやま国際センターでは英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ロシア語、ウルドゥ語を話すスタッフによる外国語での相談を行っています。

昨年度は400件を超える相談があり、その多くはブラジル人の方からの相談でした。世界的不況の中、労働問題の相談が最も多く、続いて福祉、保険、医療等の相談も多くありました。雇用環境の悪化に伴う失業が、住居や子供の教育の問題などにも波及することもあります。生活相談はこのように一つの問題だけではなく多重的な問題をはらんでいることが多いのです。

日本語が十分にできないことで専門機関とのやり取りが直接できない人のために、当財団では今年の1月より三者通訳機（トリオフォン）を設置しました。相談員が相談者と専門機関の間で通訳に入ることで、問題のより迅速な解決につとめています。

電話通訳サポートとは…

日本語が十分にできない外国籍住民の方が、どこかの機関などに相談をしたい場合、とやま国際センターの専用電話に電話をしてください。スタッフが相談内容を聞き、相手方の機関などにリアルタイムで通訳して、相談者、当センターのスタッフ、相手方の担当者と同時に相談をすすめることができます。

通訳料金は不要ですが、通話料金は相談者の負担となります。

電話通訳サポートの日程は上記をご参考ください。

電話通訳サポート 専用電話番号

076-441-5654



【場所：(財)

英語

ポルトガル語

ロシア語

中国語

韓国語

【場所：射水

ウルドゥ語

TEL：07

07

FAX：07

E-mail：ti

ブラジ

日時 平成2

場所 高岡市

ブラジル人

生活相談そし

この事業(

年から実施

しています。

領事館業務

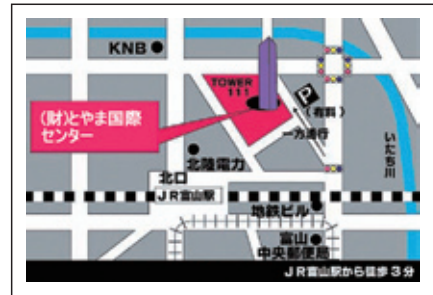
した。

相談業務で

外国人のための生活相談 & 電話通訳サポートの日程

とやま国際センター 富山市牛島新町5-5 インテックビル4階】

月	火	水	木	金
13:00~17:00	—	13:00~17:00	—	13:00~17:00
12:30~17:00	12:30~16:30	9:00~12:00 13:00~17:00	12:30~16:30	12:30~17:00
—	—	13:00~17:00	—	13:00~17:00
13:00~17:00	12:30~16:30	13:00~17:00	—	13:00~17:00
—	—	13:00~17:00	—	—



射水市小杉庁舎201会議室 射水市戸破1511】

第2、4金曜日 14:00~17:00

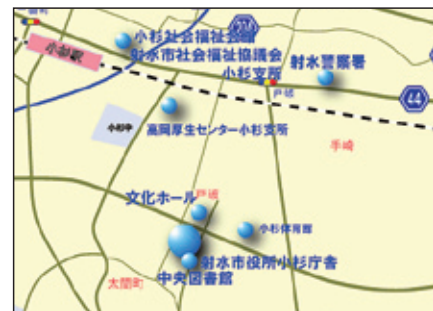
6-444-2500 (生活相談)

6-441-5654 (電話通訳サポート)

6-444-2600

ic@tic-toyama.or.jp

* 相談にお越しの際は事前にお電話ください。



ブラジル日総領事館

平成31年6月14日(日) 9:00~

射水市ふれあい福祉センター

外国人のパスポート更新手続きや医療相談(内科)、法律相談、入管相談、防犯相談を行う「ブラジル日移動総領事館」が開催されました。本日は、在名古屋ブラジル総領事館が富山県、高岡市と連携して平成31年6月14日(日)開催しているもので、とやま国際センターでは広報や生活相談等で協力



業務では、旅券や委任状等の申請があり、今年は受付人数で155人(平成20年度:244人)と例年に比べると減少しま

した。医療相談8件、法律相談21件、入管相談5件、生活相談7件、防犯相談5件の相談がそれぞれありました。

市町村国際交流・協力、多文化共生担当課長会議

日時：平成21年5月26日(火)

場所：富山県市町村会館 研修室

富山県では近年の外国人住民の増加に伴い、多文化共生への取り組みを推進しています。

今年の市町村国際交流・協力、多文化共生担当課長会議の講演会では東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター プログラムコーディネーターの杉澤経子氏を迎え、「多文化共生社会の実現に向けて」というテーマで講演いただき、各自自治体や国際交流団体が多文化共生社会を構築していく上で大切なことを、その経験や知識を基に分かりやすくお話いただきました。



杉澤 経子 氏



今回はグアテマラ共和国から届いた青年海外協力隊 篠田 健司さん からののお便りをご紹介します。

現在、首都から約270km離れメキシコ国境に面したウエウエテナンゴ県の県都、ウエウエテナンゴで暮らしています。人口約8万人、グアテマラの中でも大きい街でショッピングモールもあり、普段の暮らしは日本でのそれとさほど変わらないので、海外に住んでいる実感がいまいちわかりません。実感がわくとすれば食事でしょうか。

主食はとうもろこしの粉で作ったトルティーヤ。これを焼いた肉やスープと食べるのが一般的な食事。グアテマラでは昼食が一番しっかりしていて、夕食はトルティーヤにフリホーレス（小豆の塩茹で）、そして卵（ゆで卵だったり、スクランブルエッグ）だけで、これがほぼ毎日。それに砂糖の入った甘いインスタントコーヒーが出てきます。グアテマラはコーヒーで有名ですが、品質のいい豆は輸出に回され、家庭では主にインスタントコーヒー。ホームステイ先の家族にコーヒー豆をあげるのですが、未だコーヒー豆で入れたコーヒーが出てきたことはありません。あげた豆はどこに行ったのでしょうか？

危険な首都に比べ、ここは油断は出来ませんが治安は割といいです。人もいいし、みんな優しい。そしてウエウエテナンゴのもう一つの特徴はインディヘナ（原住民）が多いこと。インディヘナの多いグアテマラの中でウエウエテナンゴは特にインディヘナの割合が多い地域で、町中を歩いていても各民族衣装を着た男女を見かけて、衣装でどこから来たのか分かります。ウエウエテナンゴ全体が一つの民族博物館になっているような感じです。

それほど不満のない生活ですが、ひとつだけ。時々というか、しょっちゅう朝の5時過ぎに爆音と共に起こされます。この習慣？かは知りませんが、誕生日を迎えた人の家の前で友人が大量の爆竹を鳴らすので、まだ外も薄暗いのにしつかりと起こされるのが1年過ぎても慣れません（笑）

私の配属先であるNGOは婦人科、産婦人科、小児科の病院を経営していて、料金を支払えず地元の病院へ通えない患者が訪れています。病気の原因が不衛生な水に起因する場合が多いにも関わらず、水道施設が整っていません。私は、地方の集落の水道施設の設計に携わっています。現在、任期も1年を切り、活動終了まで何ヶ所手がけることが出来るかわかりませんが、少しでも多くの人にきれいな水を利用してもらうことが出来るよう、そして病院に来る必要性が少しでも低くなることを願いながらグアテマラでの日々を暮らしています。



篠田 健司さん

派遣国：グアテマラ共和国

職種：水資源開発

派遣期間：平成20年3月～22年3月

配属先：PCI(Project Concern International)

李 向榮さん (遼寧省外事弁公室アジア処 副所長)



李 向榮さん (右)

Q. 富山とはどんな結びつきがありますか？

A. 1994年5月から1995年5月、富山県庁国際課で一年間研修をしました。1999年4月から2000年4月まで国際交流員として、県庁国際課で仕事をしました。

Q. 今、どんなお仕事をされていますか？

A. 遼寧省人民政府の国際交流の窓口(遼寧省外事弁公室アジア処)に勤めています。今年遼寧省と富山県は友好提携して25周年で、5月に石井知事が訪中した際に、富山県代表団のお世話をさせていただきました。私がいる部署はアジアの国々と交流をしていますが、日本との交流事業が一番多いです。

Q. 中国の近況について教えてください。

A. 世界の発展途上国の中で、中国の車の台数は年々増えています、十数年前にマイカーを持つことは中国人の夢でしたが、今は一つの家庭でマイカーを二台ほど持っている家庭も出てきました。車の急増に伴って、交通渋滞、空気汚染、交通事故など一連の問題も表れました。今、全国では毎年交通事故で亡くなる人は10万人を超えて、世界で一番多いです。交通規則に関する教育と交通事故を抑えることはとても重要です。



世界遺産の北陵公園—清朝の初代皇帝が眠る—

Q. 最後に富山の人に一言メッセージをお願いします。

A. 中国人は漢方薬を使用しています。富山の和漢薬は遼寧省でよく知られています。「六神丸」「熊の胆」は有名ですし、飲みやすいですので、遼寧省で販売したらたくさん売れると思います。今年双方の友好提携25周年ですので、実りのある交流を期待しています。遼寧省で富山物産コーナー、あるいは富山の薬のショップを作ったらいかがでしょうか。

平成21年度上半期 草の根国際活動助成団体決定！

当財団では民間の非営利団体等が主催する国際交流・協力活動および多文化共生活動などの事業に対し助成しています。平成21年度上半期の助成団体は以下の団体に決定しました。

団 体 名	事 業 名
社団法人 射水青年会議所 (理事長 石灰 一友)	日韓交流少年野球大会
特定非営利法人 富山県日中友好協会 (会長 石澤 義文)	2009富山県中国語スピーチコンテスト
太閤山日本語グループ (代表 亀井あつ子)	ワイワイ にほんご・たいこうやま 開催事業
アジア子どもの夢 (代表 川渕 映子)	中国四川省大地震被災地交流事業
富山ルーマニア友好協会 (理事長 竹内 祥子)	ルーマニア民族舞踊の夕べ

平成21年度下半期助成事業の募集は9月ごろ実施の予定です。

フィッシュ アンド チップス

揚げ魚は、17～18世紀にイベリア半島に住むユダヤ人によってオランダやイングランドにもたらされました。ジャガイモは17世紀にヨーロッパに伝えられました。2つを一緒にしたこの料理は19世紀半ばにロンドンやイギリス南東部で人気になりました。チャールズ・ディケンズが小説“オリバー・ツイスト”の中でこの揚げ魚を収納する倉庫のことについてふれています。



～作り方～

1. ジャガイモの皮をむき、細い棒状に切る。
2. 大鍋に水を沸騰させ、1を6分煮る。
3. ジャガイモを湯からあげ、ざるに入れる。
4. 大きなボールに小麦粉を入れた後、ゆっくりとビールを入れ、泡だて器でペースト状になるまで混ぜ、衣をつくる。
5. 塩、コショウで味付けしたタラに4の衣をつけ、黄金色になるまで4～6分油で揚げる。
6. 同じ油でジャガイモを黄金色になるまで3～5分揚げる。

* チップスはフライドポテトのイギリスでの呼び名です。



～材料(2人分)～

ジャガイモ……………4個
タラ 切り身……………大2
小麦粉)……………適量
ビール)……………適量
サラダ油……………約2L
塩、コショウ……………少々

*揚げ魚にはレモンがあいませ。サラダと一緒にいただくのもよいでしょう。

TICからのお知らせ

これからの行事予定

日本語教室 in 南砺

7月5日(日)～3月14日(日) AM 10:00～11:30
全25回 原則 月3回 日曜日 福光福祉会館

とやま国際塾

7月18日(土)～19日(日) 国立立山青少年自然の家
*高校生対象

生活支援日本語ボランティア養成講座

7月23日(木)～10月8日(木) 毎木曜日 全10回
18:30～20:30 環日本海交流会館(富山市内幸町6-6)

英語教育セミナー「小学校に英語がやってくる」

7月25日(土) 13:30～15:30
環日本海交流会館(富山市内幸町6-6)

多文化共生サポーター養成講座(ボランティア養成講座)

- 第1回 7月26日(日)「多文化共生って何？」
小杉社会福祉会館
- 第2回 8月1日(土)「富山に住んでいる外国人は今」
- 第3回 8月2日(日)「外国籍の子どもたちの教育について考える」
- 第4回 8月8日(土)「富山県内における多文化共生の地域づくりに向けた取り組み」
第2～4回の会場：射水市中央図書館
時間はいずれも13:30～16:30

夏休み子ども英語塾

8月17日(月)、8月18日(火)、8月20日(木)、8月21日(金)
13:30～15:30 環日本海交流会館(富山市内幸町6-6)
*小学校5～6年生対象

日本海学 学生フィールド講座—高度差4000mのつながり—

8月11日(火)～12日(水) 有峰森林文化村
8月20日(木)～21日(金) 富山商船高等専門学校 若潮丸
*大学、専門学校、大学院生対象

富山県大学連携協議会公開講座

「日本海学から見つめる環日本海地域Ⅳ」

第1回 9月12日(土)
第2回 9月19日(土)
第3回 9月26日(土)
13:30～16:20 県民会館302号室

TIC国際理解出前講座

国際理解、国際協力、国際交流をテーマに、いろいろな国のことを楽しく聞いたり、体験したりしてみませんか？ お気軽にお問い合わせください。

皆さんのところへ国際交流員や青年海外協力隊OBなどの講師が出向き、皆さんの国際理解を応援します。

【出前講座4つのコース】

- ・JICA国際協力出前講座
- ・国際交流・異文化理解コース
- ・開発教育ワークショップ
- ・NGOの活動紹介



詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.tic-toyama.or.jp/>

(財)とやま国際センター賛助会員募集及び寄付のお願い

財団法人とやま国際センターは、民間レベルの国際交流、国際協力を推進するため、様々な事業に取り組んでいます。TICの事業にご支援いただける賛助会員の方を募集しています。

年会費(1口) 個人会員 3,000円

団体会員 30,000円

また、財政基盤の充実を図るため、寄付についてもよろしくご願ひ申し上げます。